

令和4年度に使用する教科書の採択について(報告)

広島大学附属福山高等学校

令和4年度に使用する教科書の採択結果とその理由について、ご報告いたします。

採択教科書		選定理由 (内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等)
教科名	現代の国語	現代を代表する,最新の評論家の評論文を教材として多く載せており,最新の言説に多く触れることのできる授業が展開できる。また,評論文のテーマは偏りなく,幅広いものとなっており,人間,社会,自然の各領域について考えを広げることができる。さらに,評論文の読み解き方や書くことの実践教材が付されており,生徒の書く力や読む力を育成することができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	現代の国語	
教科名	言語文化	基本的な教材文を,各時代を代表する作品から選んで載せているので,高校古典の導入期にいる高校1年生に適切な教科書である。また,教材文の表記を工夫しており,読みやすいものとなっている。 また,アクティブラーニングの実践も教材として付しており,主体的な学習を深めるものになっている。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	言語文化	
教科名	現代文B	第一部と第二部に分かれており,現代文Bを二年間で履修する場合に扱いやすい。 教材文は評論文を多く載せており,人間,社会,自然について考えを広げるのに適切である。また,評論文教材は,キーワードをとりあげて意味を説明しており,現代社会を論じるために必要な語彙を豊かにすることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	精選現代文B 改訂版	
教科名	古典A	教材文がジャンル別に載せられており,扱いたいジャンルに沿って授業を行うことができる。また,分量的,内容的にまとまりをもって教材が載せられているので,作品を読み深め,書き手や登場人物の感情や思想について考えさせる授業を展開するのに適切である。 コラムは古典世界や古典作品に関心を持たせ,理解を深めさせる内容となっており,生徒に読ませたい内容となっている。
発行者の略称	東書	
教科書名(シリーズ)	古典A	
教科名	古典B	第一部と第二部に分かれており,古典Bを二年間で履修する場合に,扱いやすい。 教材文は各時代,各ジャンルの代表的な作品から選ばれており,様々な時代の書き手や登場人物の思想や感情について考えさせることができる。教材文の脚注欄には多くの注釈が記されており,生徒の理解を助けるよう工夫されている。付録では古語,特に心情語について丁寧に説明をしており,生徒が登場人物の心情をより深く理解し,考えを深めることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	古典B 古文編 改訂版	
教科名	古典B	第一部と第二部に分かれており,古典Bを二年間で履修する場合に,扱いやすい。 教材文は各ジャンルから代表的なものが選ばれており,様々な時代の書き手や登場人物の思想や感情について考えさせることができる。教材文の配列は短く読みやすいものから順に載せられており,漢文を読む力を段階的に高めていくのに適切である。また,教材文の脚注欄には多くの注釈が記されており,生徒の理解を助けるよう工夫されている。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	古典B 漢文編 改訂版	
教科名	地理総合	豊富な写真や図表と因果関係がわかる本文を通して,地理的な見方・考え方を働かせた学習を可能としている。また地図やGISの利用といった基礎的・基本的な地理的技能を習得できる内容となっている。最新の具体事例を扱うことで興味関心を高めたり,生徒自ら発見した疑問や課題を多面的・多角的に考察したりする工夫がなされている。世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学ぶことで異文化理解につなげることができる。
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	高等学校 新地理総合	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	地図	<p>横幅が広く、広い範囲が同一ページに収まり、地域の理解が容易である。一般図では、地形の段彩が明確で、地形の特徴を捉えやすく、また、歴史事項も記載されているため歴史的背景を考える材料ともなる。主題図では、自然・産業・生活文化など、幅広いテーマの主題図が掲載され、多面的な地域理解に役立つ。また、主題図に「考察」コーナーが設けられており、地図をもとにした地理的見方・考え方の育成をはかるよう工夫されている。</p>
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	新詳高等地図	
教科名	地理A	<p>既存の系統地理や地誌の内容もカバーしながら、地域の新しい動きや防災などの新しい視点も十分記載している。また、内容理解を促すための図表・写真資料と、その解説が充実している。さらに、学習する地域と日本との関わりや、日本と比較したときの違いなど、比較・分析を進めていくうえで必要な視点や情報を多く取り入れ、より現代社会の地理的認識の力を高めるための工夫がなされている。</p>
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	高等学校 新地理A	
教科名	地理B	<p>系統地理分野においては、事象の記述にとどまらず、因果関係にも踏み込んでおり、より深い地理的見方・考え方の育成をはかることができる。地誌分野においては、自然環境や産業だけでなく、歴史的背景についても記述があり、より多面的な分析を可能としている。また、両分野とも、理解の一助となる図表や写真が効果的に配置されており、生徒が効果的に理解できるよう工夫されている。</p>
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	新詳地理B	
教科名	歴史総合	<p>近現代の世界の歴史について、自国史と世界史を一体として理解することができるように工夫されている。たとえば、近現代までの諸地域の文明について、歴史の時代や、出来事を象徴する諸資料を提示し、その地域についての解説を付している。この解説は、世界史を学ぶ初学者である生徒にとって必要な近代に至る世界の大まかな動きを理解する上で役立つように構成されている。近代からのページでは、資料の読み解きを基点に見開きを構成し、資料と文章を往還して学習を進める上で適当である。</p>
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	明解 歴史総合	
教科名	世界史B	<p>多角的な視点から歴史が構成されており、タテの流れを4つにまとめつつヨコのつながりにも留意した構成になっている。各ページで地図・図版・資料を取り入れ、注も一層充実させている。海域世界や中央ユーラシアからの視点を積極的に取り入れ日本とのつながりも重視している。</p>
発行者の略称	東書	
教科書名(シリーズ)	世界史B	
教科名	日本史A	<p>本文の内容・記述に近現代史をさまざまな視点から深く学ぶことができる工夫がなされている。章立てや単元構成もわかりやすく、学習の整理がしやすい。詳しい本文と興味深い資料の的確な配置により生徒の学習意欲を喚起する構成となっている。</p>
発行者の略称	山川	
教科書名(シリーズ)	日本史A 改訂版	
教科名	日本史B	<p>学習上必要な内容を十分網羅し、歴史的な事象を詳細かつ明確な表現で述べている。章立てや単元構成も的確で新しい研究成果も多く盛り込んでいる。色使いも穏やかで本文と注・資料のバランスもよく、生徒の学習の深化を高める構成となっている。</p>
発行者の略称	山川	
教科書名(シリーズ)	詳説日本史 改訂版	
教科名	現代社会	<p>記述内容が詳細かつ具体的で凡例も多く掲載され、2年次にわたって学習する本校生徒が自学用としても活用しやすいものであるといえる。各章の冒頭にはイントロダクションが設けられており、これから学習する内容の具体的な事例が紹介されていることも生徒の関心を高めるために有効であると考えられる。</p>
発行者の略称	実教	
教科書名(シリーズ)	高校現代社会 新訂版	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	倫理	全体を通して、先哲の思想と現代とのつながりを強く意識した構成になっている。これは、現代の様々な倫理課題を自分自身の問題として考えることにつながり、倫理を学ぶ最も重要な目的の一つを果たすことになる。また、各章のはじめに全体を貫く問いがあり、それを考えるために必要な要素、すなわち内容解説と原典資料が過不足無く記載されている。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 改訂版 倫理	
教科名	政治・経済	各単元はテーマごとに体系的に整理されており、記述内容・記述量ともに、政治・経済に対して関心の高い本校の生徒に適していると考えられる。また「現代社会の諸問題」に関する単元においては、論争となる問題を対立する二つの視点から考えさせるという構成をとっており、さらに「研究課題例」を設けるなど、課題を追究する学習のための工夫が見られる。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 改訂版 政治・経済	
教科名	数学Ⅰ・数学A	必要な内容が精選され、授業の中で生徒が数学的な見方や考え方を働かせることができるように展開されており、思考力・判断力・表現力が身につくように工夫されている。視点を変えた多様な考え方を学び、様々な視点から問題を解決する方法を学ぶことができるように構成されており、応用的・発展的な内容について効果的に学習ができ、自ら学びをひろげていけるように考えられている。知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられ、例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされ、基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考えられる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	数学Ⅰ・数学A	
教科名	数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学B	必要な内容を精選し、数学の見方や考え方などが身につくように工夫されている。応用的・発展的な内容について効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされ、複数の考え方を提示して多様な考え方が養えるようにされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考えられる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	数学Ⅱ改訂版・数学Ⅲ改訂版・数学B改訂版	
教科名	物理基礎	本書は、データやグラフなどが多く盛り込まれ、また、図やモデルなどによる考察過程の補助的資料も多く、観察・実験を中心にして、生徒の体験を重視した展開を図っている。扱われている観察・実験も、当校の器具で無理なく実施可能な内容である。生徒が「見だして」学ぶ部分も適切で、探究に必要な資質・能力の育成ができる展開となっている。また、本書に掲載されている発展の内容も、基礎の内容を補完するもので、当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	高等学校 物理基礎	
教科名	物理	本書は諸現象や物質について図や写真などを用いて、わかりやすく解説する構成となっている。また、内容と関連して、近年話題となっている化学的な事象・技術や、物質・反応についての予備知識が「トピック」「参考」などのかたちで取り入れられており、生徒個々の興味・関心や理解度に応じた授業展開が可能となっている。また、観察・実験についても、各章ごとに探究活動が設けられているほか、代表的な実験は本文中で紹介されているなど、実験を主体とした当校の授業展開・学習指導に適した内容の配置となっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	物理 改訂版	
教科名	化学基礎	本書は、身の回りの物質について、成分元素とその性質、原子の構造と元素の周期表との相互関係に着目するとともに、イオン結合や共有結合、金属結合や分子間に働く力などの化学結合について、図やグラフなどを豊富に用いて理解を深めるように工夫されている。また、生徒が理解しにくい分野である、物質・モルの考え方や概念について、適切な説明とわかりやすい図や適切な問い・練習問題などを配置しているので、容易に理解することができる。さらに、発展的な内容や課題なども適宜取り入れられており、化学の学習を進めていくために必要な内容が十分に盛り込まれている。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 化学基礎	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	化学	本書の内容は、化学結合と物質の三態・気体・溶液の性質・物質とエネルギー・電池・電気分解、化学反応の速さと化学平衡などを扱う理論編と無機化合物、有機化合物、高分子化合物などを扱う各論に大別することができる。それらの取り扱い、理論的な分野では、具体的なデータをわかりやすい図や表・グラフなどで示して、容易に理解できるように工夫されている。探究的な内容は補足資料などを用いて、より深く理解できるように構成されている。さらに、色々な物質の性質を、網羅するだけでなく、それらの物質の特徴を捉え、図や写真などを使い、生徒の興味・関心を高めることができる。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 改訂 化学	
教科名	生物基礎	本書の観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。また、学習内容に準ずる話題や発展的内容が適切に配置され、その内容と頻度が基礎的学習にふさわしい。科学的な知識に関しても、多様な事物・現象が扱われており、用語やモデルの系統的な配列など、生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に適したものとなっている。
発行者の略称	実教	
教科書名(シリーズ)	生物基礎	
教科名	生物	本書は、生命現象と生物の存在様式を簡潔に扱い、その内容を適切に整理して容易に理解できるよう配慮されている。参考・コラムの配置頻度が適当であり、その適時性もある。観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。以上の特性は生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に合致したものである
発行者の略称	数研	
教科書名(シリーズ)	改訂版 生物	
教科名	地学基礎	本書は、学習内容が系統的に配列されているとともに、地球(身近な視点)から宇宙(全体的・俯瞰的な視点)へと移り変わっていく構成ともなっており、生徒が主体的かつ計画的に学習が進められるよう工夫されている。また、当出版社は、基礎を付していない「地学」教科書を発行している数少ない会社の一つであり、当教科書への使用を見越して、内容的にも充実した、発展的な事物・現象を取り扱ったものとなっている。これらの特性は、当校の教育課程や学習指導に照らして適したものとなっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	地学基礎 改訂版	
教科名	地学	本書は、地球(身近な視点)から宇宙(全体的・俯瞰的な視点)へと移り変わっていく構成となっているとともに、年表や図解等も多く織り込まれ、生徒が自然の事物・現象をより捉えやすくするための工夫がなされている。また、当出版社は、基礎を付していない「地学」教科書を発行している数少ない会社の一つであり、当出版社の「地学基礎」教科書を使用した場合における継続性も考慮されている。これらの特性は、当校の教育課程や学習指導に照らして適したものとなっている。
発行者の略称	数研	
教科書名(シリーズ)	地学	
教科名	保健体育	内容の構成・配列が適切で理解しやすい。資料が豊富で扱いやすい。「考えてみよう」やコラムが用意されており、生徒の興味・関心を高めることができる。章のまとめやADVANCEの項目は自発的学習を促すものとして役に立つ。し以上の内容から、生徒の学びを最優先として考え採択とした。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	新高等保健体育	
教科名	書道Ⅰ	それぞれの時代において、生活の中で「書」がどのような位置づけにあったのかという視点で、「書」を身近に感じながらそこに入っていけるように考えられている。北魏の書も折り込みで大きく扱うなど、幅広く古典を感じるができる。「書」がどのような歴史背景から生み出されたのか、芸術としての傑作が生まれる必然をきちんとわかりやすく説明している。書道史年表にも、図版を多く取り入れて視覚的に概観できるものとなっている。全体を通じて生徒が主体的に学ぶことができる工夫が随所に施されている。
発行者の略称	教図	
教科書名(シリーズ)	書Ⅰ	
教科名	書道Ⅱ	Ⅰと同じく、篆書・隸書・草書で、時代の流れや変遷が俯瞰的にわかるような並べ方を、それぞれの最初に持ってくるという編集が施されている。そのあとに代表的な古典が書き方も含めてわかりやすく載せられている。行書・楷書では、いわゆる発展的な作品が数多く取り上げられており、いろいろな書体に関して生徒にイメージを膨らませる授業展開が可能となるつくりになっている。古典・古筆にもとづいた漢字仮名交じりの書への展開もよく工夫されている点である。
発行者の略称	教図	
教科書名(シリーズ)	書Ⅱ	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	書道Ⅲ	更に発展的な古典・古筆が適切に載せられているのと、そこから発想したと思われる現代の作品を並べる工夫がなされている。それによってその古典・古筆がどう扱われてきたのかということと、そこからどのように作品に展開されているかがわかる。また、元明清や江戸時代の作品などもとりあげられているので、様々な書風の理解と同時に、創作への手がかりにもなる内容となっている。
発行者の略称	教図	
教科書名(シリーズ)	書Ⅲ	
教科名	美術Ⅰ	生徒の主体的な学びに問いかけるような工夫により、アクティブラーニングに対応させ、生徒自身が答えを導き出す力を育むことができる。SDGsの観点を取り入れ、アートの力で世界を変えるという国際的な視点で考える力を養うことができる。このようなことから、生徒の美術への興味関心を持たせるとともに、創造力を育むことができる教科書であると考えられる。
発行者の略称	116 日文	
教科書名(シリーズ)	高校美術	
教科名	美術Ⅱ	応用的な授業をおこなう上では、想像力を広げる作品が必要となり、表紙の作品や「絵に隠された謎」、「問題を解決するデザインを発想しよう」、質問形式のところなどのように、生徒に考えさせる内容が充実している。鑑賞分野では芸術家について学習していくため、作家の生涯や作家インタビューを活用し、授業展開に役立てることができる。
発行者の略称	38 光村	
教科書名(シリーズ)	美術2	
教科名	美術Ⅲ	日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が取り上げられている。また現代社会やオリンピックをテーマとした題材を設け、社会や文化への視野を広げることができるよう工夫されている。これまでの学習内容を基礎にして、より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。
発行者の略称	38 光村	
教科書名(シリーズ)	美術3	
教科名	音楽Ⅰ	小中学校での共通教材が「心の歌」として取り上げられており、日本で昔から歌い継がれている曲を再評価できるようになっている。ポップスやオペラやミュージカルだけでなく、わが国の伝統音楽の舞台芸術についても比較しながら理解できるよう、工夫がなされている。また、創作の段階を踏んだ鑑賞と表現との一体化が図られており、使いやすい教科書となっている。
発行者の略称	教芸	
教科書名(シリーズ)	MOUSA1	
教科名	音楽Ⅱ	音楽Ⅰとの継続性が図られており、特に器楽では音楽Ⅰで培ったギターの基礎的な奏法の上に立って、ギター弾き語りなどの発展的な内容ができるようになっている。歌唱では合唱やボイスアンサンブルなどが取り入れられている。創作でも、生徒が自分たちで考えながら曲作りをして行けるような構成となっている。
発行者の略称	教芸	
教科書名(シリーズ)	MOUSA2	
教科名	音楽Ⅲ	生徒にとってなじみ深いクラシックとポップスの教材がバランスよく配列されている。民族音楽にも触れられ、器楽の内容も含まれている。鑑賞の説明が適切で楽典も含んだ分かり易い構成となっている。歌唱や合唱の教材の配列やその難易度が当校の生徒の実情に合っている。
発行者の略称	教芸	
教科書名(シリーズ)	Joy of Music	
教科名	英語コミュニケーションⅠ	「読むこと」・「聞くこと」・「書くこと」・「話すこと[発表]」・「話すこと[やりとり]」の4技能5領域の活動がバランスよく構成されている。レッスンのトピックは多岐にわたっており、生徒が考えて意見を交換したり、考えを書いたりまとめたりするのに活用できる。特に、各課の最後にRetellingの項目があり、本文の内容を他者に伝える言語活動を各課で行うことで、生徒に目的を持った読みを促すと同時に、体系的に「話すこと」の力を養うことができる。使用されている語彙や構文の水準も高く、高度な英語力を身につけるのに適している。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	ELEMENT English CommunicationⅠ	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	コミュニケーション英語 II, III	読む・聞く・話す・書くの4技能の活動がバランスよく構成されている。レッスンのトピックは多岐にわたっており、生徒が考えて意見を交換したり、考えを書いたりまとめたりするのに活用できる。さらに補足教材が豊富で授業の様々な活動に利用できる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	Revised ELEMENT English Communication II, III	
教科名	論理・表現 I	「やりとり」「発表」「書く」という表現活動がバランス良く配置されており、学習した言語材料を「目的・場面・状況」に応じて適切に活用できるよう構成されている。また、Unit Goalsには、活動に対する自己評価を記入するCan-doリストがあり、生徒は自身の表現能力上達を実感することができる。文法事項についてはそのみで独立しておらず、コミュニケーション活動につながる語彙や表現が用いられており、年間を通じて確かな文法知識と豊かな表現能力を育成するのに適している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Genius English Logic and Expression I	
教科名	英語表現 II	文法事項について、表現活動に活用できるような例文を用いて学習できる工夫がある。また、英作文を中心とした練習問題だけでなく、Speakingに活用できる内容となっている。また、各レッスンにはListeningやReadingも組み込まれており、内容理解から話す、書くへと学習を連続させることが可能となっている。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	Perspicitive English Expression NEW EDITION II	
教科名	工業	学習内容が的確に捉えてあり、生徒に理解しやすいものとなっている。プログラム演習や各種実験が適切な時期に配置されている。図や表、写真がわかりやすく配置されており、学習を補助する資料としても活用できる。また、学習内容に関連した参考資料や発展的な内容も掲載されており、生徒が学習内容を深めることができる構成になっている。
発行者の略称	実教	
教科書名(シリーズ)	情報技術基礎	
教科名	家庭基礎	全体を通して、「持続可能な未来をつくる」ために生活の中から課題を見つけその解決を図るといった視点が盛り込まれており、これは当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。生徒の興味関心を惹く内容のコラムが多く掲載されており、思考を促す材料となる。実物の写真や動画などデジタルコンテンツが豊富であるため、イメージをつかませ易く、学習を補助する資料としても活用できる。これまでの日本社会や他国の現状を表した統計資料が多く掲載されているので、それらを比較・分析することによって、これからの生活のあり方や社会とのかかわり方について、考察を促すことができる。以上の事柄から、本書が本校生徒及び授業の実態に最も即した教材であると考えられる。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	
教科名	情報科学研究入門	情報科学研究入門の学習内容に沿っており、学習者の学びを深めることができる。また専門用語の解説が充実しており、自学自習の教材としても活用できると思われる。さらにイラストによる解説も豊富で、視覚的な理解を促すことができると考えたため、本教科書を採択する。
発行者の略称	日文	
教科書名(シリーズ)	新・情報の科学	

